

令和3年度シラバス（国語）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	国語表現	単位数	2 単位	学年(コース)	3 学年
使用教科書	大修館書店 国語表現 改訂版			授業形態	必修・ 選択 ・習熟度
副教材等	演習プリント				

1 学習目標（科目のねらい）

一年の「国語総合」及び二年の「現代文」の学習をふまえ、「読む」・「調べる」・「書く」・「聴く」・「話す」こと等、基礎事項の積み重ねによって「国語力」を身につけ、自分の考えを的確に表現できるようにする。
また、実用的・論理的な文章を適切な形式・内容で書けるようにする。

2 学習計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	曜日	月	授業計画と授業の内容	時間
4	◎ 1 学期中間考査まで 「書いて伝える」 ・ 原稿用紙の正しい使い方について学ぶ。 ・ 表記、係り受け、敬体常体など、文章を客観的に見て、悪文を整える。 ・ 構成を意識した作文の書き方。 ・ 模範文書き写し	10	9	◎ 2 学期中間考査まで	12
				「自己PRと面接」 ・ 自己表現の場である面接に対応するための面接シミュレーションをする。 ・ PR文、面接シートの作成(志望動機等) ・ 相互評価	
5	◎ 1 学期期末考査まで 中間考査までの学習内容を踏まえて、身近なテーマで文章表現を行い、文章力を養う。 個々にテーマ設定をし、実際に作文する。 ・ 小作文（～400字） ・ 小論文（600～1200字）	12	10	◎ 2 学期期末考査まで 「メディアを駆使する」	12
			11	各自テーマを設定し、調べ学習をする（インターネット、図書館の本） レポートをまとめ、発表する。	
6	◎ 1 学期期末考査後 個々の作文を客観視し、手直しする。（リライト）	6	12	◎ 2 学期期末考査後 手紙の書き方の基本を学ぶ。 通信文、案内状など、公的文書の書き方を学ぶ。	6
			1	◎ 3 学期 高校生活 3 年間を振り返って、卒業記念作文を書く。 前回のレポート発表を上回るレポート発表を行う。	

計64時間（55分授業）

3 評価規準と評価方法

評価観点	評価方法
発表・実演と作文により、自分の考えをよくまとめる確に伝えようとしている。表現を深めるために漢字や慣用句を理解し、知識を身につけている。	出席状況、授業態度、小テストの成績、課題の内容や取り組み状況などに基づき、総合的に評価する。

4 担当者から一言

自分の考えを的確な文章で書いたり、わかりやすく話したりすることを目標とする。
特に論理的な文章を書き、発表することに重点を置く。

（担当：杉下・吉田）